

本殿遷座祭齋行



平成ノ大造営

時満ちて
道ひらく

1月祭事曆

- 1日 元旦祭
午前7時～ 総社地主祭
午前9時～ 総社祭
引き続き 高宮地主祭、
高宮祭、第二宮・第三宮祭、
末社祭
- 2日 新年二日祭 午前9時～
- 3日 新年三日祭 午前9時～
午前10時～
宗像護国神社新年祭
- 10日 恵比須祭 午前10時～
- 13日 献米奉告祭 午前11時～
- 15日 月次祭 併 成人祭
午前10時～ 高宮祭、
第二宮・第三宮祭
午前11時～
総社祭・成人祭

平成二十七年・乙未^{みづのうま}年頭挨拶

宗像大社 宮司 高向 正秀

皇紀二千六百七十五年 平成二十七年の年頭にあたり謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は氏子崇敬者皆様のご奉仕ご奉賛を賜り、諸祭儀を滞り無く齋行出来ましたことに衷心より御礼を申し上げます。

殊に一昨年より進めてまいりました本殿・拜殿の修復工事並びに防災施設が完工し、昨年十二月八日には遷座の儀を、翌九日には天皇陛下より幣帛料を賜り奉幣の儀を恙無く齋行致しました。これも偏に氏子崇敬者、経済界を始め皆様のご奉賛の賜物と篤く御礼申し上げます。但し「平成ノ大造営」事業はまだ、二次・三次と実施してまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願いを申し上げます。

また、八月十六日より十月十三日まで東京の出光美術館におきまして開催いたしました「宗像大社国宝展」では四万七千二百八十二名が来館、多数の人々に宗像大神の御神威を発揚、宗像大社の由緒を改めてご理解いただきました。

装いを一新した社殿の荘厳な佇まいは、改めて身の引き締まる思いです。皆様方もご存知の通り、宗像大神は皇祖天照大神様より「天孫を助け奉りて 天孫に祭かれよ」とのご神勅を下され、この宗像の地に鎮座されました。宗像大神は皇室のご守護と国家国民の安寧を旨とすることこそ本義でございます。さらに古来より九州で唯一の神郡としてこの地の人々は誇りを胸に奉賛してまいりました。その伝統は今日も脈々と継承されております。将に地域と宗像大社は不可分の存在でございます。この伝統を次世代にしっかりと引き継ぐこと、また、日本精神の啓蒙こそ私共に課せられた責務であると思っております。

本年も御神威を新たにされた宗像大神様の御神徳により皆様方にとり良き年となりますよう祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。

辺津宮本殿・拝殿の修復を終え

宗像大社辺津宮本殿遷座祭齋行

平成二十五年二月二十六日「平成ノ大造営 復興期成会」の設立より約一年十ヶ月を経て昨年十二月八・九日の両日に亘り辺津宮本殿遷座祭が齋行された。

八日には、昭和四十六年以来四十三年振りに、遷座の儀が執り行われ、改修を終えた本殿にお遷りいただいた。

この重儀に先立ち改修工事の進捗に伴い諸前儀が下記の如く執り行われた。

【洗清の儀】 十二月一日 午後二時

本殿改修の竣功にあたり朱色鮮やかに整った殿内を禰宜以下神職が文字通り次々と掃き布で拭き清め宮司の奉検により、大神様にお遷りいただく始めの儀式は納められた。

【御飾の儀】 十二月三日 午前九時

此度の遷座に際し新調又は修復された調度品等の装飾が施された。

【新殿祭】 十二月六日 午前十一時 (写真①)

本殿に異の方向に設えられた祭壇で宮司により造営工事の無事終了を寿ぎ平安を祈る祝詞が奏上された。

【清祓の儀】 十二月六日 午後二時 (写真②)

本殿へ昇殿し齋主が清祓詞を奏上し奉仕員全員で大祓詞を奏上した。次いで所役が大麻・塩湯にて本殿・拝殿、遷御道筋・雨儀廊を祓え清められた。



③宮司が唐櫃に納められた、装束、神宝を奉検

宗像大社職員 名譽宮司 宮司 権宮司 禰宜 権禰宜										宗像大社責任役員会 代表役員 責任役員																								
巫出	女仕	高向	出光	松尾	長尾	麻尾	出光	石原	多田	谷東	伊東	養父	清水	安部	河辺	寺島	倉元	高向	出光	松尾	長尾	麻尾	出光	石原	多田	谷東	伊東	養父	清水	安部	河辺	寺島	倉元	
正守	可愛	正秀	敬之	幹之	秀丸	安彦	貞治	大治	裕巨	直之	宗延	貴寿	崇拓	誠礼	祥裕	庸介	裕介	裕介																
森千尋	佐野里菜	篠原あゆみ	石井遥	陣内楓	福永愛	福嶋真貴	石津典秀	吉武純子	花田純弘	吉田正輝	力丸雅国	倉本哲也	永丸康子	竹本あづさ	非常勤管理員																			
監事	安永	福田	治允	宗像大社氏子会 会長	副会長	宗像大社・中岡宮奉賛会 会長	副会長	宗像大社職員 名譽宮司	宮司	権宮司	禰宜	権禰宜	巫出	女仕	非常勤講師																			
安永	福田	治允	宗像大社氏子会 会長	副会長	宗像大社・中岡宮奉賛会 会長	副会長	宗像大社職員 名譽宮司	宮司	権宮司	禰宜	権禰宜	巫出	女仕	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	



① 巽の方角(南東)に向かい祭典は行われた



② 奉仕者全員で大祓詞を奏上



③ 本殿、遷御道筋、雨儀廊を祓い清めた



④ 全奉仕者は真新しい装束を着装し、祓舎で御祓いを受けた

【御装束神宝読合】 十二月七日 午後一時 (写真③)
 此度の御遷座に合せ調製された御装束神宝を禰宜が送文を次々と読み上げ、宮司が詳らかに奉検し異状の無いことを確認し儀式は終了した。

【川原大祓】 十二月七日 午後五時 (写真④)
 薄暮の中祓舎に読合で確認された御装束神宝が設えられ、全奉仕神職は遷座の儀で著ける真新しい装束を着装し祓えをうけ御遷座の前儀の全てを終え翌日に備えた。

【遷座の儀】 十二月八日

早朝より雲が空全体を覆い時折小雨が見られる天候の中、祭儀や参列者をお迎えする準備の確認が行われ、昼前には県内外よりの助勤神職や奉仕者が続々と参集、潔斎の後遷座の儀の習礼(祭典練習)が約二時間行われた。夕刻にはこの重儀の神社本庁使をご奉仕頂く神社本庁総長田中恒清氏をお迎えし祭儀の最終確認を行う、この頃には心配された雨も上がり、愈々その刻を待つばかりとなった。

午後七時二十分、宮司以下神職、助勤神職・奉仕員・供奉員そして同二十五分本庁使同随員の総勢六十五名の奉仕者は斎館及び勅使館よりそれぞれ参進。修祓の後仮本殿所定の座に著く。出御の祝詞に続き各所役に威儀物を授ける召立が行われ、宮司、禰宜二員が殿内に参入し奉遷の準備を整える。

定刻の午後八時 本庁使より「出御」が報じられると境内全ての灯がおとされ、浄間の中、ただ松明の明かりのみが途を照らす。風のざわめきのみが感じられる静寂の中、宗像三柱大神の「御」は絹垣に覆われ遷御道を進み神門を通られる時には、厚い雲間から月明かりが照らしだし、大神様は無事元の御座にお鎮まりになられた。

入御が報じられると境内には再び灯が点され宮司祝詞奏上のうち同八時四十五分、遷座の儀は滞りなく終了した。

遷座の儀、午後7時20分、斎館前に列立する総勢65名の奉仕員



祓舎にて全奉仕員がまず祓えを受ける



1年3ヶ月お鎮り頂いた仮本殿での、最後の宮司祝詞奏上



遷御に先立ち、神玉を授受



遷座の儀 式次第

時刻、宮司以下祭員及び供奉員斎館より参進(是より先 手水の儀あり)
本庁使 同随員勅使館より参進(是より先 手水の儀あり)
宮司以下祭員・本庁使・随員及び供奉員 祓舎所定の座に著く
修祓

これより仮本殿

宮司以下祭員・本庁使・同随員及び供奉員 仮本殿所定の座に著く
宮司一拝(諸員之に倣ふ)
宮司祝詞を奏す
神玉授受役威儀物を各所役に授く(この時召立の儀あり)
諸員各其の位置に列立す
宮司・禰宜二員殿内に参入し 諸員各其の位置に列立す
遷御(此の間奏楽警蹕諸員警折)

これより本殿

入御(此の間奏楽警蹕諸員平伏)
是より先禰宜本殿の御扉を開く
(此の間奏楽警蹕諸員平伏)
宮司御扉の側に候し諸員各其の位置に列立す(この後召立の儀あり)
神玉授受役威儀物を各所役より受く
禰宜以下祭員及び参列員所定の座に著く
宮司祝詞を奏す(此の間諸員平伏)
宮司玉串を奉りて拝礼(祭員列拝)
本庁使玉串を奉りて拝礼(随員列拝)
供奉員代表玉串を奉りて拝礼(供奉員列拝)
宮司御扉を閉じ畢りて所定の座に著く
(此の間奏楽警蹕諸員平伏)
宮司一拝(諸員之に倣ふ)
各退出



遷座祭習礼風景



仮殿から本殿へ浄間の中を進む遷御の列



受付風景



供奉員控室



宮司祝詞奏上



遷座の儀には180名もの方々にご参列頂いた





奉幣の儀 天皇陛下からの幣帛を本殿に奉安



天皇陛下からの幣帛を唐櫃に納め本殿へ参進

【奉幣の儀】 十二月九日

遷座の感動覚めやらぬ翌朝午前八時、遷座後初の神饌をお供えする御饗祭を執り行い、同十時よりは奉幣の儀が斎行された。畏き辺りよりの幣帛料を宮司が神前に奉り祝詞を奏上、次いで本庁幣供進、本庁使が祭詞を奏上。そして御遷座を寿ぎ主基地方風俗舞・悠久の舞が奉奏されると約三百名の参列者を代表頂き、宗像大社責任役員・平成ノ復興期成会副会長松尾新吾氏が玉串を奉りて拝礼し、ここに辺津宮本殿遷座祭の祭儀全てが納められた。

祭典終了後、参列者等は玄海ロイヤルホテルに会場を移し、直会が開催され、宗像市谷井博美市長、神社本庁使をご奉仕頂いた、神社本庁総長田中恆清氏にご挨拶いただき、開宴。修復施行の株式会社児島工務店、株式会社九電工には感謝状を贈呈し、和やかなままに、二日間に亘る本殿遷座祭、一連の行事が全て終了した。

奉幣の儀 式次第

- 時刻、先ず御幣物・本庁幣、禰宜副従、宮司以下祭員参進(是より先手水の儀あり)
- 神社本庁使・同随員参進
- (御幣物・禰宜・本庁幣、宮司以下祭員が祓舎を出た後参進(是より先手水の儀あり))
- 御幣物・本庁幣、宮司以下祭員祓舎に著く
- 修祓
- 本庁使・同随員祓舎に著く
- 修祓
- 宮司以下祭員拝殿所定の座に著く
- 本庁使・同随員所定の座に著く
- 宮司一拝 (諸員これに倣う)
- 宮司御扉を開き畢りて側に候す
- (この間奏楽警蹕諸員平伏)
- 宮司御幣物を奉る (この間奏楽)
- 宮司祝詞を奏す (この間諸員平伏)
- 宮司本庁幣を奉る (この間奏楽)
- 本庁使祭詞を奏す (この間諸員平伏)
- 神楽 主基地方風俗舞及び悠久の舞奉奏
- 宮司玉串を奉りて拝礼
- (禰宜以下祭員列拝)
- 本庁使玉串を奉りて拝礼 (随員列拝)
- 参列員玉串を奉りて拝礼 (参列員列拝)
- 宮司本庁幣を徹す (この間奏楽)
- 宮司御扉を閉じ畢りて本座に復す
- (この間奏楽警蹕諸員平伏)
- 宮司一拝 (諸員これに倣う)
- 各退出



Personal Communication

株式会社 ゼネラルアサヒ
〒812-0064 福岡市東区松田3丁目777番地
TEL 092-611-8311

GA デジタルグラフィックス研究所
宗像市アスティ1丁目5番地



平成27年 元旦 明けましておめでとうございます。



主基地方風俗舞



宮司祝詞奏上



悠久の舞



直会



宮司挨拶



施工業者への感謝状贈呈

文字も大きく地域面も充実



© THE NISHINIPPON SHIMBUN CO., LTD.

西日本新聞社

<http://nishinippon.co.jp/>

本社 福岡市中央区天神1丁目4-1 〒810-8721
TEL 092(711)5555(代) FAX 092(711)5152

北九州本社 北九州市小倉北区堺町1丁目2-16 〒802-0005
TEL 093(482)2601 FAX 093(531)2014

東京支社 東京都中央区八重洲2丁目8-7 福岡ビル 〒104-0028
TEL 03(3273)8585 FAX 03(3273)8586

大阪支社 大阪市中央区北浜3丁目1-21 松崎ビル 〒541-0041
TEL 06(6202)6351 FAX 06(6202)6356

年頭挨拶



福岡県知事
小川 洋

あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。宗像大社および地域の皆さまには、日ごろから「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

平成二十一年一月に本遺産群がユネスコの世界遺産暫定リストに記載されて以来、県では宗像市、福津市と共同で、市民団体、経済団体、文化・教育団体などの地域の皆さまと共に、世界遺産登録に向けた官民一体の取り組みを推進しています。



また、世界遺産登録には、地元の機運を高めていくことも重要です。宗像タクシー協会の約二〇〇台の車両には応援マグネットを貼付いただいております。また、昨年は、九州国立博物館においてパネル展示やDVD上映

本遺産群は今年、ユネスコに推薦されることを目指しており、国内外の専門家を招いて世界遺産登録に向けた課題を克服するとともに、推薦内容の充実に向けた作業を鋭意進めております。また、世界遺産登録のためには、資産そのものだけでなく、資産周辺についても保全保護していくことが大変重要です。世界遺産としてふさわしい景観形成を目指し、国内外の専門家からご助言をいただきながら検討を重ね、包括的保存管理計画の作成も進めてきました。引き続き、地域の皆さまと一体となって、取り組んでまいります。

のほか、専門家による公開講座を行い、「神宿る島」沖ノ島について多くの皆さまに関心を持っていただくことができました。さらに、本遺産群の全国的な知名度を上げるため、出光美術館で開催された「宗像大社国宝展」神の島・沖ノ島と大社の神宝」を機に、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」東京交流会を開催し、本資産の価値を広く発信することができました。

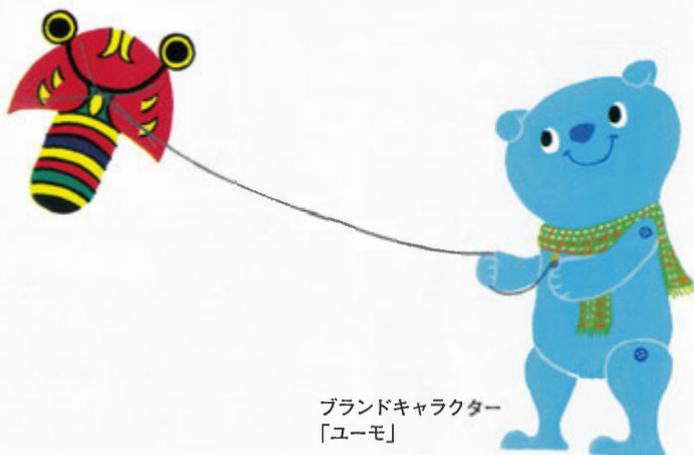
世界遺産とは、国家や民族を超えて人類が共有すべき遺産であり、次の世代に確実に受け継がれていくべきものです。本遺産群は宗像大社をはじめ、地域の皆さまの信仰により、一六〇〇年の長きにわたり現代まで受け継がれてきたすばらしい遺産です。まさに「人類が誇る宝」である本遺産群を次の世代へ確実に引き継ぐためにも、今後とも「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録活動に一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

本年が、皆さまにとって、希望あふれる素晴らしい一年となりますよう心から祈念いたします。

あなたのいちばんに。
FFG ふくおかフィナンシャルグループ

明けましておめでとうございます。
今年もよろしく願いいたします。

福岡銀行



ブランドキャラクター
「ユーム」

宗像支店 宗像市東郷5-4-5 TEL 0940-36-2017 赤間支店 宗像市土穴2-1-17 TEL 0940-33-7211

平成27年 元旦 明けましておめでとうございます。

年頭挨拶



宗像市長
谷井 博美

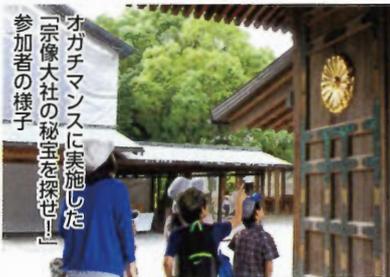
あけましておめでとうござい
ます。輝かしい平成二十七年の新
春にあたり、皆様におかれまして
は健やかに新年をお迎えのことと、
謹んでお慶び申し上げます。ま
た、日頃より宗像市政、とりわけ
「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の
世界遺産登録推進活動に格別
ご理解とご協力を賜り、改めて厚
くお礼申し上げます。

皆様ご存知のとおり、この宗像
地区は、古くから朝鮮半島、さら
にはアジア大陸への貿易や外交の
窓口でした。このことは大陸と交
わってきた日本の歴史に深く繋がっ
ていきます。その起点となる宗像

のこの地は、悠久の歴史を持つ宗
像大社を中心として発展してま
いりました。私たちは沖ノ島を含
む宗像大社を中心とした関連遺
産群などの歴史遺産を大切に保
全し、後世に継承していく必要が
あります。

現在、福岡県、宗像市、福津市
の市民代表や経済団体、文化・教
育団体、行政で、設置された「宗
像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺
産推進会議は、平成二十九年に
「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の
世界遺産登録を目指して活動し
ております。

世界遺産に登録されるために
は多くの課題があり、官民一体と
なった取り組みが大切です。宗像、
そしてこの日本の貴重な歴史・文
化遺産を広く多
くの方々に認識
してもらい、誇
りと愛情をもつ
て保全・保護し
ていくことが重
要であると考え
ております。



オガチマンスに実施した
「宗像大社の秘宝を探せ」
参加者の様子

宗像大社におかれましては、今
後も引き続き世界遺産登録活動
並びに本遺産群の保全・保護に対
し、温かいご理解とご協力を賜り
ますよう、心からお願ひ申し上げ
ます。

さて、昨年を顧みますと、宗像
大社におかれましては四十三年
ぶりとなる辺津宮本殿・拜殿のお
屋根替えをはじめとする修復が
無事に終了し、本殿遷座祭ならび
に奉祝奉幣祭が厳粛に執り行われ
ました。平成二十五年からスター
トした「平成ノ大造営」を約十年
かけて実施されるこのことで今
後も様々なご苦労があろうかと
思います。御由緒にふさわしい
姿を後世に引き継ぐためご尽力
いただきたいと思います。

終わりに、本年平成二十七
年が宗像大社にとってより一
層のご繁栄の年となりますこと
とを祈念いたしますとともに、
皆様のご健勝、ご多幸をお祈
りし、年頭のあいさつといた
します。本年もどうぞよろし
くお願ひ申し上げます。

人と技術の未来を創造する

Human & Technology



三島光産株式会社

代表取締役社長 三島 正一

本社 / 〒805-8503 北九州市八幡東区枝光二丁目1番15号
TEL (093)671-8500 FAX (093)671-8503

<http://www.mishimakosan.com/>

三島光産

検索

古式祭・鎮火祭

古式祭

八百余年の歴史
去る十二月十四日(日)未明、八百余年の歴史を持つ古式祭が仮本殿にて厳粛に斎行された。

新穀を御神前にお供えし神々に五穀豊穣を感謝する祭典と、奉仕者・参列者も神々と御膳を共にする『御座』の二つで構成される宗像地方独自の神事である。新米の御



古式祭祭典



特殊神眞御菓子

祭典は夜が明けない暗闇の午前六時、前日より参籠した高向宮司以下神職が奉仕し、宗像市田島・江口両区長、当番班々長、置鮎氏子会々長等が参列し齋行された。

祭典は夜が明けない暗闇の午前六時、前日より参籠した高向宮司以下神職が奉仕し、宗像市田島・江口両区長、当番班々長、置鮎氏子会々長等が参列し齋行された。

参列者も神々と御膳を共にする『御座』の二つで構成される宗像地方独自の神事である。新米の御

飯・海川山野の幸のほか、地元宗像市江口区の人々によつて採取された「ゲバサモ(海藻)」や、菱餅、九年母(くねんぼ・蜜柑の原種)を特製の竹籠に入れた「御菓子」と云われる特殊な御供え物が捧げられる。また、御座は田島区内八班の氏子が毎年交代で奉仕する、今年が当番を務める上殿班の男性奉仕者が神職と共に参籠(神社に宿泊し、世俗との交わりを断ち、身を清める事)を行い奉仕した。

待ちわびる参拝者の列が出来ていた。一座五十名で、午前六時半から一番座が始まり、五番座迄計一八三名が参列した。参列者は、忌穂が刺し立てられた御飯や田楽・ガメ煮・なま酢・みそ汁などを粟箸で食した。又くじ引きも行われ、翁面・御神盃・神札などが参列者に授与された。御座は神様と御膳を共にし、一年の喜びを分かち合う「神人和楽」に本来の目的がある。午前十時には最後の御座も滞る事無く終了した。



清明殿での御座

謹賀新年

新しい年が素晴らしい一年となりますよう
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

2015年元旦



ダイドービバレッジサービス株式会社
福岡東営業所
092-663-2310

ダイドードリンク株式会社
西日本第二営業部
092-663-2171



鎮火祭

火神の荒びを鎮める

古式祭終了後、午前十時より鎮火祭が斎行された。「ほしずめの祭」とも言われるこの神事は火神の荒びを鎮め、その災いを受ける事のないように祈る神事である。神話では火神の荒びを、水神が「ひさご」、埴山姫神が「川菜」を以て

宗像大社神符頒布始祭

十一月二十日、宗像大社神符頒布始祭が仮本殿にて厳肅に斎行された。この祭典が終わると、いよいよ新年に向けた新たな神札の頒布活動が始動する。

当大社は、古代九州で唯一「神郡」を持つことが許された。その範囲は、宗像・福津を中心とその周辺に及ぶ。以降、地域の総氏神として篤い崇敬を受けてきた。その御神縁から毎年、宗像・福津両市の氏子崇敬者の方々に宗像大社神符を頒布している。

鎮めたとある。祭典でも官司以下二名の神職が古式に則り火打石で忌火を起こし、「ひさご」で水を注ぎ、次いで「赤土」、最後は「川菜」で覆う、鎮火の儀が行われた。

祭典には谷井宗像市長・小山福津市長を始め、吉武県議会議員、吉田宗像市議会議長・大久保福



鎮火の儀

津市議会議長、県消防学校々長、宗像市防災協会、宗像地区消防本部、宗像・福津市消防関係者、置鮎氏子会々長らが参列し、寒さが一段と厳しくなり火の気が多くなる年末年始の平穏を祈った。

祭典は、氏子評議員六十

名が参集して斎行され、頒布者を代表し宗像大社氏子会 置鮎玄二郎会長へと宗像大社神符が授けられた。

れた。



祭典終了後、清明殿にて氏子評議員会が開催され、古式祭及び御座へのご参列と人形献米の取り纏めの御願い・正月祭のご

案内・一月十三日斎行の献米奉告祭の氏子奉幣使の選定などが協

議された。

閉会后、氏子評議員の方々は各地区に頒布する宗像大社神符・人形を手に大社を後にした。

尚、十月二十四日、宮地嶽神社にて神宮大麻頒布始祭が斎行され、併せて永年に亘り神社界に寄与された方々に対する「福岡県神社庁表彰」の伝達式も行われた。当大社からは三名の方が表彰された。

平成二十六年

福岡県神社庁神功労者定例表彰

宗像大社氏子会

副会長 松井 善徳 様

宗像大社氏子会

副会長 瀧口 幸男 様

宗像大社

副会長 沖・中両宮奉賛会

宮本 昭男 様

太陽光は、九電工っす!

SunQコール ☎0120-039-905
www.kyudenko.co.jp/taiyoko

太陽光は九電工 検索

株式会社 九電工 福岡北営業所
〒811-3219福津市西福間2-17-17
TEL0940-42-1120



Make Next.
九電工
福岡北営業所

平成27年 元旦 明けましておめでとうございます。

大注連縄奉製奉仕 三宮合わせ、七本を奉製

去る十一月二十三日、新年に先立ち大注連縄の奉製が行われ、恒例により沖中両宮奉賛会・同翼賛会・同敬神婦人部外多数の方々
の御奉仕にて美しく整えられた。

中津宮本・拝殿、御嶽宮、宮崎区厳島神社、辺津宮拝殿、第二宮、第三宮分計七本を奉製した。また、昨年引き続き宗像市より一般の方を対象に注連縄奉製の体験



辺津宮拝殿前の掛け替え奉仕



大島での奉製



真新しい大注連縄が掛け替えられた辺津宮拝殿前
沖・中両宮奉賛会、翼賛会の皆様

奉仕者を人数限定で募集したところ、十名の参加者が集まった。当日早朝、奉仕者はお祓いを受け奉仕を開始、約四十名の奉仕者は二手に分かれ作業を行った。漁師町ならではのテグス(釣り糸)で注連縄の元となる藁束を締め上げたもの二本を結び合わせ大注連縄の完成となる。テグ

スできつく締められた注連縄は、成人男性約二十名掛かりで何とか結わえる程の硬さである。これを七本奉製し終えた頃には夕日も沈み掛けており、奉仕者一同

腕に力が入らない状態であった。

この日奉製された藁の香り漂う真新しい大注連縄は、師走に入り掛け替えが行われる。

また、時化となった十二月二日には、沖津宮・中津宮各所の小注連縄奉製奉仕が、同じく沖中両宮奉賛会・同翼賛会・同敬神婦人部の方々により行われ、三m〜五十cmまで、約百本もの注連縄を奉製頂いた。御奉仕頂いた皆様に心より御礼申し上げます。

節分祭の御案内

本年も下記日程で節分祭を斎行致しますので、皆様振るってご参列下さい。

2月3日(火)

◆節分祭 午前11時～
於=本殿

◆豆打ち式 午前11時30分～
於=斎館前 特設舞台



謹んで新年のご挨拶を申し上げます



SF CALL CENTER (国内線予約・案内センター)
0570-07-3200 ※PHSまたはIP電話からは 北九州/093-512-7320
営業時間/7:00~23:00(年中無休)
<http://www.starflyer.jp>

株式会社 スターフライヤー
代表取締役 松石 禎己
社長執行役員

平成27年 元旦 明けましておめでとうございます。

出光タンカー新造船 「アポロ・ドリーム」に宗像大神を奉斎

去る十一月十八日、ジャパンマリンユナイテッド株式会社・呉事業所に高向宮司外二名の神職が出向、最新鋭の大型原油タンカー「アポロ・ドリーム」の宗像大神鎮座祭並びに鎮座奉祝祭が執り行われた。

た。従来船と比較して一割以上の燃料消費量削減を実現したほか、排気ガス中の窒素酸化物排出量を抑制する、国際海事機関の新規則に対応した主機関を採用するなど、環境に配慮した工夫が施されている。

新船は、全長三三九・五m、幅六十m、載貨重量三十万トンを誇る環境にも優れた国内最大級の最新巨大タンカーで、出光タンカー株式会社の船隊整備の一環として、平成二十四年に発注され

祭典は同船操舵室にて午後三時より出光タンカー株式会社早川取締役・野間船長以下関係者参列のもと鎮座祭が斎行され、海神でもある宗像大神を船内の神殿に鎮祭した。翌日午前八時半、出光興産株式会社月岡代表取締役社長・出光タンカー株式会社大



島代表取締役社長・野間船長以下関係者参列のもと鎮座奉祝祭斎行。高向宮司より同船の加護・航海安全と国威

発揚・社業益々の発展を祈念する祝詞が奏上され、引き続き神職二名が大麻・切麻にて同船を祓い清めて祭典は滞りなく終了した。我が国を取り巻く国際環境は荒波の如く変化している現在。同船が我が国の生命線である原油調達安定性の強化、日本のエネルギーセキュリティに貢献されるのみならず、アジア共栄の架け橋となり、活躍される事を心よりお祈り申し上げます。



謹んで新年の御祝詞を申し上げます

福岡トヨタ自動車株式会社
代表取締役社長 金子 直幹
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目8番28号
電話(092)761-3331

福岡トヨペット株式会社
代表取締役社長 中尾 潤一
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目9番11号
電話(092)411-1121

トヨタカローラ博多株式会社
代表取締役社長 久恒 兼孝
〒812-0042 福岡市博多区豊2丁目3番50号
電話(092)441-2111

トヨタカローラ福岡株式会社
代表取締役社長 金子 護
〒810-8603 福岡市中央区長浜2丁目1番5号
電話(092)712-7111

ネットトヨタ北九州株式会社
代表取締役社長 村上 宏文
〒806-0041 北九州市八幡西区皇后崎町14番6号
電話(093)642-2111

第43回 宗像大社短歌大会

宗像大社短歌大会実行委員会

第四十三回宗像大社短歌大会(実行委員会主催、毎日新聞社共催)が、十一月二日、清明殿で行われた。午前中の「小中高生の部」は約八十名が参加。山田勝智会長挨拶のあと、桜川冴子先生による入選作品の選評があり、一八六七首の応募数は過去最高で、レベルも向上しているとお褒めの言葉があった。表彰式が終ると、演壇を背に賞状を持ってご家族と一緒に記念撮影する生徒さん達の姿が見られた。六十名が集い行われた午後からの「一般の部」は、葦津権宮司より挨拶を頂き開会、講演では、今年度の歌会始に史上四人目となる「三回目入選」を果たされた中西輝磨先生から、皇居における授賞式の模様や短歌上達法の講義があった。

「一般の部」の応募者数は二九四首で、過去最高。入選作品と当日参加者の作品については、青木昭子・野田光介・恒成美代子・桜川冴子の各先生から、ときに添削もまじえて長時間の講評を頂き、簡潔で分かりやすい解説に、参加者は最後まで熱心に聴き入っていた。その後、表彰式が行われ快い拍手のうちに閉会した。



主な受賞者は次の通り。

一般の部

◆福岡県知事賞 加藤三知乎 筑後市
夫に注ぐビールの泡がせりあがる やるべきことはやったじゃないの

◆福岡県教育委員会賞 宮原ますみ 福岡市
おまへさんも年とつたねと朝夕を軋む雨戸に気楼を合はす

◆宗像市長賞 井寺 容子 筑後市
シャガールが来てゐる森の美術館つばさを広げ逢ひにゆくなり

高校生の部

◆宗像市長賞 福岡女学院 戸嶋野乃香 一年
傘の中世界が今は自分だけそつと本音を漏らしてみたり

◆福津市長賞 宗 像 林 優里 二年
止まらない時計の針が遠ざける君と私との二人の距離を

◆宗像市教育委員会賞 福岡雙葉学園 野瀬 れい 一年
どこまでも飛んでいけそうこの空へ果てなく広がる十六の地図

中学生の部

◆宗像市長賞 小都市立立石 松本 尚也 一年
ていねいにワックスを塗り型つけるこれからよろしく先輩のグローブ

◆福津市長賞 福岡教育大学附属久留米 今村甲太郎 三年
ドストと奴はやつぱりやつてくる階段上り僕を起こしに

◆宗像市教育委員会賞 福岡女学院 首藤 良寧 二年
泣きながら帰ってきた姉少しだけ大人びて見えた私だけかな

小学生の部

◆宗像市長賞 南 郷 林 幸哉 六年
カプトムシわが家に夏がやってきたたたかうツノがおおしく光る

◆福津市長賞 南 郷 奥田 匠海 六年
夏休みプールさんまいエブリディ日にやけすぎてヒリヒリしたい

◆宗像市教育委員会賞 神興東 こうづまゆうた 二年
みぎひだりみんなのこえですすんでいく見えないスイカぱりとわれる

DTP デザイン印刷・WEB サイト制作・各種ムービー制作

(株) HSD エイチエスデー
 〒811-3439 福岡県宗像市三倉17-1
 TEL 0940-36-9012 URL <http://h-sd.co.jp>

安全・安心のトータルプランナー

株式会社 にしけい
 宗像支社 宗像市東郷4丁目5番12号
 ☎0940-36-3167


福岡ダイハツ販売株式会社
 代表取締役社長 内山 邦彦
 〒812-0007 福岡市博多区東比恵4丁目10番11号
 電話(092)411-1330【代表】

理容とんぼ

 〒811-3436
 福岡県宗像市東郷5丁目5-10
 TEL(0940)36-2405


 一般社団法人 **日本自動車連盟九州本部**
 本部長 **有田 耕一**
 〒814-8505 福岡市早良区室見5-12-27
 電話(092)841-7676【代表】


 玄海灘を望む風光明媚な格調高いシーサイド・コース
玄海ゴルフクラブ
 〒811-3502 福岡県宗像市江口578-18
 電話(0940)62-2233【代表】
 FAX(0940)62-2728


第六四一回

宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メロ



宗像市

日の里

大和美由紀

石段に落ちし木の実を踏み踏みばぶちぶちと小気味よき音
擬音語を使って、小気味よさを表現した歌三句の接続
助詞「ば」は動詞の已然形に付くので、字余りでも、口
語ならへ踏み締めれば、文語ならへ踏み締めればへ。

宗像市

日の里

秋吉 嘉範

菊薫る皇居で拜調老夫婦敍勲受けたる感謝の涙
叙勲受与式で労いのお言葉をかけられた作者の感謝の気
持ちが溢れた歌。内容が多いので「秋の皇居での叙勲を受
けた」「天皇にお言葉を頂いた喜び」の二首に分けては。

北九州市

八幡西区

豊田 光子

寝に就くに補聴器外しからっぽのわれに音なき安息がある
音が聴こえない状態をへからっぽと詠んでいるが、本
当は色々な思いを持つ作者なので、三・四句をへ素のわ
れに戻れば音なきとしてみた。

福津市

若木台

野間 精一

生垣の満天星の紅葉にまつはりて山芋の黄葉が風にそよげり
満天星の赤、山芋の葉の黄と色の対比が鮮やか。結句に動
詞へそよぐがあるので三句ではへまつはれるとして如何。

宗像市

日の里

軍神荒戸ケイコ

夢の中チャペルの鐘を鳴らすのは遠く離れたパリの風景
パリの教会でのロマンティックな挙式の夢か。三句切れにし、
へ鐘は響きおりわれには遠きパリの空の下などとして。

福津市

若木台

山崎 公俊

神さまは出雲へ行かれ十月の村社はひとのただ近道に
神無月の村の神社。神様はお留守だと思ふと通り抜け
をしてしまう作者が面白い。下の句はへ村社はただの
近道になるへ。

宗像市

田久

巻 桔梗

燕尾服着せたまきほどの髭のひと背筋のばして入車をさばく
髭からの連想が面白い歌。燕尾服というと指揮者など
を想像するが、この場合はもつと古めかしく、明治時
代の人のようにフロックコートか大礼服の方が合うか
もしれない。

福津市

星ヶ丘

佐々木和彦

大蛇とはすなはち土石流のこと鎮めの宮が山中にあり
言葉の回転が巧みな良い歌。最近火山の活動が盛んだ
が、御嶽山か阿蘇、あるいは別の山かが分かるように、
山岳名が必要だろう。

宗像市

池田

森 龍子

足止めて拾いし路地の柿落葉陶器のごとき光沢をもつ
柿の落ち葉の美しさが光沢で表現されているが、へ陶
器のようなで葉の質感までが感じられる。初句へ足止
めてへはやや説明的にひびくのでへ足を止めへと助詞を
入れて。

◆ 選者詠

ふつくらと黒豆うまく煮えたられば

信じてみだし良き新年を

二階から駆け下りのばす手のさきで

固定電話器ふいに鳴りやむ

第六一四回

俳句作品集

宗像市 多禮

早川 祥三

神奈備の杜にかがよう巫女の紅

北九州市八幡西区

曾川恵美子

水引きのそこやかかしこに殖えにけり

宗像市

日の里

石松 弘次

秋のきて親友の戦死の供養する

編集後記

あけましておめで
とうございます▼

十二月八日、本殿遷座祭・遷座の儀、当
日、風雨のなか準備は進む、風雨が止ん
だ浄閣の午後八時、御動座の時、一瞬、
神風が吹き抜ける、雲間に満月が現れ、
四十三年の時を経て麗しく整えられた
本殿を月灯りが煌々と照らし、美しく
輝いていた。作り話のような話であるが、
事実である。将に神の存在、神威を感じ
た一大神事に職員として奉仕させて頂
いた光栄に感謝し、神明奉仕に一層精励
せねばと感じております▼昨年を振り
返れば、広島集の集中豪雨による土砂崩れ
や御嶽山噴火など、天変地異、自然災害
が日本のみならず世界中で多発した印
象が残った。本年は何事もなく平穏で、
との思いは皆同じことでしょう。神道発
生の大きな要因の一つに、自然への畏敬
がある。抗うことの出来無い自然に「畏
怖」し、祈りを捧げてきた。神社の持つ
役割という言い方はおかしいかも知れ
ないが、これからの心よりどころとして、
祈りの場として、神社という存在が非常
に大きくなっていくのかもしれない▼乙
未(きのとひつじ)皇紀二千六百七十五
年、本年も宜しくお願い致します。(鈴)

発行所
宗像大社社務所・宗像会

住所
〒八一一一三五〇五

福岡県宗像市田島三三三

電話
(〇九四〇)六二一一三二(代)

発行人
葦津幹之

編集人
大塚宗延・鈴木祥裕

制作・印刷
ゼネラルアサヒ

毎月1日発行
定価1年送料共 1,000円